

実質化された人・農地プラン（必須項目）

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
岡山市	桑野中・下地区	令和2年9月25日	令和4年3月28日

1 対象地区の現状（データ）

①地区内の耕作面積	45.07 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者の耕作面積の合計	21.23 ha
③ // 耕作者の耕作面積の合計	11.70 ha
④地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	22.49 ha
i うち後継者有の農業者の耕作面積の合計	9.69 ha
ii うち後継者無の農業者の耕作面積の合計	2.90 ha
iii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.43 ha
iv うち後継者の有無が不明（未回答）の農業者の合計	7.47 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	32.50 ha

※回答のあった所有者と耕作者の耕作面積が32.93haであり、対象地区内の耕作面積（45.07ha）の73%を占める。

2 対象地区の現状（地域の意見）

宅地化が徐々に進んでおり、非農家とのいさかいが発生することもあり、営農が難しくなっている。また、環状道路の開発が計画されている地域であり、農地として所有し耕作するよりも、開発を機に住宅用地等への転用や、売却を行い現金化したいと考える農家も存在し、意見がまとまりにくい。

3 対象地区の課題

耕作者の高齢化が徐々に進んでおり、現在70歳以上の耕作者のうち、後継者が「無」・「未定」・「不明」の農家がおおよそ57%存在している。家族経営の農家が多く、また自分の農地は自分で守るという気質により、大規模農家が生まれにくい状況があるため、地域での話し合いが必要である。

4 対象地区における中心経営体への農地の集約化に関する方針

後継者が「無」の耕作者に対し、農業委員等を通じ、中心経営体の情報を提供し、マッチングに結び付くようにアドバイスを行う。また、中間管理機構による情報提供を活用し、中心経営体を中心に、耕作放棄地とならないよう努力する。